

日本聖公会

大阪教区報



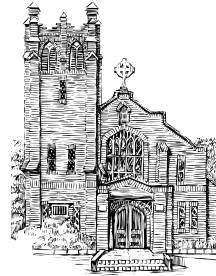
芦屋聖マルコ教会



尼崎聖ステパノ教会



石橋聖トマス教会



主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局

〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097

発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第510号 2023年5月20日発行 +++++

大阪教区成立100周年を祝い

司祭 ウイルソン ウォーレン

そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごと集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。

(使徒言行録2:46-47)

神に感謝！今年の6月11日に大阪教区成立100周年を祝い、教区の2世紀目を迎えるようとしています。実は1869年にウイリアムス監督の居宅が大阪に移って、1870年に大阪に於ける第一回の信徒接手式（＝堅信式）がありました。ですから、今年で大阪における聖公会の働きは150年を超えることとなります。

その歴史の中で、幾つかの大きな区切りの一つは「成立」です。「大阪教区五十年史」に1923年は「教区発展時代」と記されています。

今年の6月から始まる時代

は、どのような時代になるのでしょうか。磯主教様は「現実境の時代」ではなくて、『順境の時代』に私たちは生きていくと感じます」と教区報509号に書かれました。



確かにそうだと思います

が、それこそ心を一つにして神様のめぐみに頼り、忠実に生きるべきです。私たちが「聖公会が大切にしてきたもの」を守りたくて、逆境にもめげずに、回復の方法を一生懸命探していると思います。そのため、「教区再編」や「合併」

の話がこの近年によくありました。これからも大阪教区を含む日本聖公会全体が続けて考えて行くことが大切なことは言うまでもありません。しかし、組織的な解決を求めることと同時にその解決が成り立つ土台を用意しなければなりません。

初代教会は私たちより逆境の中にあつたのではないのでしょうか。キリスト教はまだ組織がなくて、土地建物もありませんでした。家ごとに集まって教会生活や活動をしました。確かに最初の頃は神殿に参りましたが段々と別な宗教として生きるようにならなければならなくなり、「迫害の時代」に入りました。現在の私たちは迫害に出会うこともなく、あえてキリスト者として生活に困ることはそれ程ないぬるま湯の中にいると言えます。

この世的には、人数が少なく、弱い存在でした。それでも、拒否されても、迫害を受けても、キリスト教が広がり、4世紀までにスペインやイギリスまでに伸びました。それはなぜかと言えば、大きな理由は2つあると思います。1

つはどれだけ難しいと思っても大胆に伝道をしました。ウイリアムス主教も、そのような姿勢を持っていたと思います。世間から見たら無理なことかも知れませんが、神様に召されて支えられているなら勇気と忍耐を持って伝道をされたので、今の大阪教区があります。

もう一つの理由は、使徒たちやウイリアムス主教は一人だけで働いていたわけではありませんでした。勿論神様が共におられたことや教会の共同体とすることがありました。初代教会の時から「彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であつた。」(使2:42) そして信者たちは皆一つになって、心を一つにしていました。要するに一致を表す教会の交わりがあり、それを見ると民衆全体から好意を寄せられた。

おそらく今後は大阪教区にとって大きな変革が必要で、心を一つにして、必ず神様に頼ってイエス様に支えられ、イエス様と共に歩むことを優先にしたいと思います。
(芦屋聖マルコ教会牧師)

第130(臨時)教区会報告

書記

司祭 ジョイ 千松 清美

2023年3月19日(日)、主教座聖堂(川口基督教会)にて、臨時教区会が行われ、主教磯晴久議長、教役者議員17人中13人、信徒代議員31名

中31名が出席。

最初に磯主教からの演説があり、教区成立100周年記念感謝礼拝を6月11日に行うにあたり、一歩前に進める具体的な動きを今後していくことが語られ、「共に集まる」、「居場所」、「協働」がキーワードとして教区内で広く話し合いがもたれることを望まれました。また大阪城南キリスト教会信

徒エスター・マクストンさんは教区神学生として常置委員会で了解され、他の教区神学生を含め皆様のお支えが求められた。

諸報告は、諸委員会からの会計報告記載頁が案内され、質問は無かった。議案審議では、新会計システムである弥生会計の継続利用、牧会献金や大斎克己献金

等の教会内会計処理の統一化の要望などが議論された。

議案結果は次の通り。議案第1号 2022年度日本聖公会大阪教区決算承認の件↓可決 議案第2号 2022年度日本聖公会大阪教区一般会計収支余剰金処理の件↓可決 閉会を迎えるにあたり、磯主教より祈り(導きのため)

をもって閉会の宣言がなされた。

※遅れていた教役者議員が途中に到着したため、議決時合計議員は17人中14人になった。(石橋聖トマス教会牧師、東豊中聖ミカエル教会 管理牧師)



羊だより

—魂の体操をしましょう—

2月の中頃、再放送でしたが、フランシスコ・ザビエルの特集をテレビでやっておりました。ザビエルは、フランスとスペインに挟まれたナバラ王国の有力貴族の三男として生まれ、裕福な家庭に育ちました。

ところが、スペインに攻め込まれ、一家は没落。ザビエル家を復興させるためには、大司教になるのが一番だと、パリの大学に留学します。当時、大司教になると、大きな資産が手に入ったそうです。ところが、ザビエルはこのパ

ルと共に創設するイグナチウス・ロヨラと運命的な出会いをします。ロヨラは元軍人で、戦争で死線をさまよい、この世の富や領土を求めて争い合うことの愚かさを悟り、剣を捨て、修道士になります。ロヨラのモットーは質素と神と

人に仕えること。ザビエルはロヨラの影響を受け、大司教になる夢を捨て、ロヨラと共にイエズス会を結成し、質素に神と人に仕える修道士・宣教師になります。ロヨラが提唱したのが「霊操」で、ザビエルも一か月間、人里離れたところで霊操し、宣教師に

なったそうです。「霊操」というのは「操」は体操の「操」ですので、魂の体操なのだそうです。ロヨラが残した霊操のためのお祈りの中に、「聖霊の降臨を求める祈り」があります。まもなく聖霊降臨日です。ロヨラの祈りをご紹介します。どうぞ皆様魂の体操をして、聖霊降臨日を迎えましょう。

聖霊来てください。あなたの光の輝きで、私たちが照らしてください。貧しい人の父、心の光、あかしの力を注ぐ方。やさしい心の友、さわやかな憩い、ゆるぐことのないよりどころ。苦しむ時の励まし、熱さの安

らい、憂いの時の慰め。恵みあふれる光、信じる者の心を満たす光よ。あなたの助けがなければ、すべてははかなく消えゆき、だれも清く生きてはゆけない。汚れたものを清め、すさみ(荒み)をうるおし、受けた痛手をいやす方。堅い心を和らげ、冷たさを暖め、

乱れた心を直す方。あなたのことを信じてより頼む者に、尊い力を授ける方。あなたは私の支え、恵みの力で、救いの道を歩み続け、終わりに喜びことができま

プネウマの集い 「魂の癒し」を求めて ~「ゆるし」を考える【4回連続】~ ・聖書から「ゆるし」をもとめて

1回目：2023年 6月18日 14時~ 15時30分 会場 西宮聖ペテロ教会

2回目：2023年 7月 2日 14時~ 15時30分 会場 堺聖テモテ教会

※詳しくはチラシをご覧ください。

(主教アンデレ)

『英国においての戴冠式と歴史』

執事 ヒューム ウィリアム ユーワン

去年、放送されたエリザベス女王の国葬で、人々が聖公会の礼拝をご覧になったと思います。

聖公会は伝統を重んじる教派です。今回はその伝統ある礼拝の一つ、5月6日に行われた英国王の戴冠式について紹介させていただきます。

戴冠式という式は冠を受けるといふ意味だけでなく、祭司ツァドクと預言者ナタンが、ソロモンに油を注いだことによつて彼が王になったように（列王記上11:39）、王は油を注がれることによつて、王として聖別される、ということを表しています。

ヨーロッパでは、7世紀より戴冠式があり、イングランドの戴冠式の前身は973年にダンスタン大主教によつて作られました。現代で用いられる式は、1689年のコンプトン主教が改定した式に基づいています。イギリスは同君連合（複数の国が同じ王を

いただくこと）ですが、イングランドの戴冠式において、同時にスコットランド王としても聖別されることになっています。現在イギリスでは即位と戴冠式は分かれていません。

戴冠式は聖餐式の中で行われる式で、7つ部分からなります。承認、誓い、聖別、叙任、戴冠、即位、忠誠ということですが、聖別と叙任だけについて簡潔に説明をしたいと思ひます。

聖別の部分の中で、王は上着を脱いで、主祭壇の向きにある聖エドワードの座に座つて、人々の目から隠されて、聖別を行います。

カンタベリー大主教は鷲の形のアムプラ (ampulla) から聖別した油を取り、スプーンを用いて王の両手、胸、頭に油を注ぎますが、女王の時には、胸に油を注ぎません。そして、王の配偶者は王妃として頭だけに聖別されます

が、女王の配偶者は聖別されません。聖別された後、叙任の中で、王・女王が着られる式服はとても重要です。

最初に、王・女王はアルブのような白い衣服 (colobium sindonis) を着られて、アルブの上に、執事が着用するようなダルマティカ (supertunica) とガードル (girdle) を着用し、その後、司祭が着るようなストールをダルマティカの上に着られます (写真)。

その4つの式服、アルブとダルマティカとガードルとストールは聖職者が着るような式服ですので、王・女王は聖別されることを通して、聖職

者のような者になることを強調しています。そして、最後に、王・女王は戴冠の外套を着ます (coronation mantle)。

戴冠の外套を着ることは王が国王ではなく、権威ある象徴であり俗世の支配者であることを強調しています。

戴冠式を通して英国王は祭司・王のような方になるので、戴冠式は非常に神聖な式です。この式はカトリック教会から伝わる、長い伝統のある式です。皆さんはチャールズ3世の



ダルマティカとガードルとストール



アムプラとスプーン

戴冠式をご覧になったでしょうか？
(堺聖テモテ教会牧師補、桃山学院教育大学アシスタントチャプレン)

解説・宣教協働区・伝道教区とは？

―大阪教区における課題―

⑧

大阪教区では、磯晴久主教

が2025年3月末に定年退職となれることから、退職日前の1年の間に、後任主教を選出しなければなりません。従来は、前年秋の教区会に選挙を実施し、それ以降、法規に記されたスケジュールに従って新主教をお迎えすることになっていきますが、法規改正による新制度の設立で、主教選挙を行わずに「伝道教区に移行する」という選択肢も生まれています。主教退任というタイミングで、この伝道教区移行を検討する場合、大阪教区が取りえる工程は、現時点では、おおまかに2通りあると考えます。

A案 2023年11月の定例教区会で、伝道教区移行の議案を審議し、可決されれば2024年6月の管区総会承認を経た上で、2029年を目指して、中日本宣教協働区の他教区と合併または新教区設立に向かいます。スタート

の伝道教区移行議案の審議を、2024年3月の臨時教区会とすることも可能です(A-2案)。A案、A-2案ともに、磯主教は約9カ月間の任期を残して退任となり、中日本宣教協働区の主教の一人に管理が委嘱されます。

B案 2024年3月の臨時教区会では、秋に主教選挙を行うかどうかのみを審議します。主教選挙を行わないと決めた場合、2024年11月の教区会で伝道教区移行の議案を改めて審議します。可決されれば、2025年の早い段階で臨時管区総会の開催を依頼し、そこで伝道教区移行が承認されれば、2030年の合併を目指すこととなります。磯主教は任期満了で定年退職となり、以降は中日本宣教協働区の主教の管理下となります。(なお、「主教選挙を行う」と決議した場合は、通常通りの主教選挙となります。)

A案は最速で伝道教区移行を決定できる一方、合意形成に至る時間不足は否めません(A-2案はA案よりも4カ月間、検討時間が長くなります)。また任期途中での主教退任の影響は少なからずあるでしょうし、他教区の動向がこの時点では分かりづらいのもマイナス要因と言えるでしょう。

B案は、A案、A-2案よりも合意形成の時間が長くとれ、磯主教の退任が任期満了時となること、中日本宣教協働区内での情報共有が進む可能性があるなどのプラス面がある一方で、管区に臨時総会の開催を依頼するため費用発生の可能性があること、また最終的な合併目標が1年遅れる、というマイナス点が挙げられます。(常置委員会)



教区成立100周年記念事業準備委員会からのお知らせ

*記念聖句 「主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」 ネヘミヤ記8-10f

1. 記念礼拝

日時 2023年6月11日(日) 10時30分～

場所 プール学院メアリーズホール

*プロセッションに先立って各教会のバナーをメアリーズホールの壇上にささげます。各教会でバナーとバナースタンドのご用意をお願いいたします。

*会場のメアリーズホールは「土足厳禁」となっております。各自で上履き(スリッパ)と靴袋をご用意ください。

*子供たちのためにキッズプログラムを9時45分～(そのまま礼拝の入室列へ参加)

*教区聖歌隊による奉唱があります。

*プール学院のカフェテリアにて昼食(麺類、カレー、パンなど軽食)のご用意がございます。

*台湾聖公会の訪問団をお迎えします。

*奉献先: NPOメタノイア (在日韓国朝鮮人の子供たちのための支援事業)

トルコ・シリア震災支援のため

100周年事業のため

2. 記念コンサート(記念礼拝に続いて行われます)

日時 2023年6月11日(日) 13時30分開場 14時開演

場所 プール学院メアリーズホール

出演 「大韓聖公会ソウル教区男声合唱団」「大阪教区聖歌隊」他

3. 記念連続セミナー 3回予定(第1回は4月23日に終了)

第3回: 大阪教区が大切にしていくこと～これからの歩み

100周年を迎え再スタートする大阪教区のビジョン、ランベスコール～

日時 未定

4. 教区成立100周年記念誌を発行します。

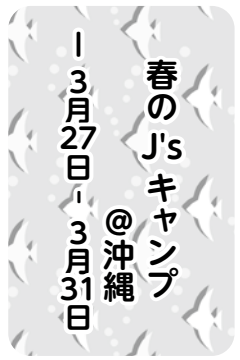
*記念礼拝までに完成するよう、作業を進めています。

5. 記念品

*100周年の記念に素敵な記念品を準備しました。すでに各教会へお送りしています。

【主教からのメッセージ】

わたしの魂よ、主をたたえよ。わたしの内なるすべてのものよ、その聖なる名をたたえよ。(詩編103:1) いよいよ大阪教区成立100周年記念感謝礼拝が近づいて参りました。プール学院メアリーズホールにて、顔と顔を合わせて、感謝と賛美を奉げましょう。皆様とお会いできることを楽しみにしています。 主の導きを祈りつつ。 主教アンデレ



いい経験ができた
沖繩キャンプ
中尾 愛心華

私は、今回、沖繩のJ's キャンプに参加できて、とてもいい経験をしました。最初、平和学習か、と思っていたけれど、勉強していくたびに、心が重たく、しんどくなったりすることがあって驚きました。なぜなら、前まで平和学習をしたときは、「平和って大事やなあー」ときれいで思っていただけだったからです。また、どんどん次の世代につないでいかないとだめだなと本気でそう思えるようになった。沖繩の美術館の絵は何かを感じさせられるような絵ばかりや、歴史の教科書にのっていない、日本の政府が隠している事実を沖繩の方を通じ、分かりました。また、戦争は人を傷つけるだけではなく、心も傷つくということがより深く分かった。

沖繩は、確かに美ら海などが、きれいで人気だけれども、沖繩は戦争のあったあとや傷も、沖繩の魅力だと私はこのキャンプを通じてわかりました。
(大阪聖愛教会)

J's キャンプに参加して
長 紗希

今回のキャンプは、私だけ予定があり2泊3日しか参加できず、初日から飛行機が遅れてメンバー全員と会えなかったり色々なことがありました。初めて会った人とも最初は人見知りであまり話せなかったけど、2日目には笑い合えるくらい仲良くできて嬉しかったです。沖繩は修学旅行で一度行ったのですが、そのときに行かなかった場所も行って良かったです。

特に印象に残っているのが、「対馬丸記念館」です。沖繩戦での観光地といえ、**「平和の礎」**だったり「平和祈念資料館」だったりするのですが、対馬丸は聞いたことがなかったもので、今まで知らなかったと思うと悔しいです。対馬丸記念館での印象に

残っているのが、対馬丸のこともからあなたへという文章でした。すごく考えさせられる文で、「わたしたちは生きたかった」「今でも世界中の子どもたちが悲鳴をあげているのはなぜ」という文を読んだときに胸がきゅつとしました。偶然その船に乗っていただけなのに、その船の中でも生きれた人、亡くなってしまう人、どちらもしんどいと思いました。

生きた人の中で今でも「なぜあなたは生きているの?」という声が聞こえるというように精神的にもきている人がいて、今私は何をすればいいのかと、考えさせられる場所でした。国民に見に来てほしいくらいの場所だと思いました。(西宮聖ペテロ教会)

僕が、今回のキャンプで特に楽しかったことは、バーベキューと辺野古と美ら海水族館に行ったことです。バーベキューでは沖繩教区青少年部の人たちが来てくれて楽し

2023年J's キャンプ
感想文
当舎 那津希

かったです。辺野古では、綺麗な海や、ヤドカリ、サンゴ礁が見ることができて、とても楽しかったです。美ら海水族館では、熱帯魚から、深海魚まで幅広い魚がいて、特に印象が残ったのはやっぱりジンベエザメです。はじめて生で見ると大きさに驚き、しかもエサをやる場所まで見ることができてよかったです。そして、今回のキャンプで学んだ場所で印象が残ったところは、平和の礎と対馬丸記念館です。平和の礎では、24万

人という、聞いても想像しにくい数を肌で感じることでできて、どれだけの人が亡くなったかを知ることができました。対馬丸記念館では、対馬丸に乗っていた小さい子から高齢者までいろんな人がいて、その写真に年齢が書かれていてそこに二歳と書かれた写真を見て驚きました。「こんなに小さい子たちまで犠牲になっただ」と、その写真を見て、二度とこのようなことが起きないように願いました。(西宮聖ペテロ教会)

通して金司祭は、悲しみのマリアの涙、神様の涙、そしてキリストの苦しみが人を救うというメッセージをお話しくださいました。人は雄弁な言葉を欲し、力強い業を誇りますが、何もできないイエス様が人を救い、キリストの苦しみが人を救うというメッセージに私たちは大きな慰めと癒しの力を頂いたのです。

また礼拝後、磯主教よりイースターメッセージとして、マグダラのマリアに現れた復活のイエスのお話しをしていただきました。復活のイエスはマリアの前ではなく後ろに

聖金曜日(受苦日) 礼拝
司祭 バルナバ 小林 聡

2023年4月7日、主教座聖堂にて、聖金曜日(受苦日)の礼拝が行われました。司式はアンデレ磯崎久主教、説教はアモス金頭昇司祭でした。参加者は約50人。金司祭は説教の中で、どのような時に涙を流しますかと問いかけられ、イエス様の母マリアの涙に触れられ、またご自身が韓国での牧会で出会われたあるお母さんの息子さんとの葬儀での涙に出会ったお話をされました。その体験を

また礼拝後、磯主教よりイースターメッセージとして、マグダラのマリアに現れた復活のイエスのお話しをしていただきました。復活のイエスはマリアの前ではなく後ろに

大阪教区関係教役者
6月逝去者記念聖餐式

6月14日(水) 10:30~

- *説教者: 司祭 ペテロ 齋藤 壹
3日 司祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945加)
4日 司祭 オーガスチン 芦沢 光雄 (2002)
8日 司祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899英)
10日 司祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942英)
11日 司祭 ジョージ・デンプシー (1960英)
13日 司祭 ダニエル 植村 信久 (1980)
15日 司祭 ステパノ 橋本 節 (1915~1996)
16日 司祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926米)
18日 伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946)
19日 司祭 ベニヤミン 東 信行 (1943)
20日 司祭 牧岡 鉄弥 (1919)
22日 司祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943英)
29日 宣教師 エデイス・メアリー・バーナウ (1944英)
主教 横田 道信 (1946)
宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949英)
30日 司祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988)
司祭 パウロ 水谷 博彦 (2008)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分
から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかか
わらず、どうぞ自由にご参加ください。

聖金曜日(受苦日) 礼拝(続き)

現われ、マリアが振り向いた
ときに復活のイエスがそこに
おられたことをお話しくださ
り、私たちも後ろにおられる
復活のイエス様に大きな愛で
支えられていることに気づか
され、復活の命に与っている恵
みを感じることが出来ました。
イエス様の苦難、そして復
活の恵みにふれる聖金曜日の
礼拝でありました。主に感謝
します。

(聖贖主・大阪聖パウロ・
高槻聖マリア教会牧師、
博愛社チャプレン)

【常置委員会報告】4/13第8回例

- I. 主教報告及び諸報告
4月22日(土)の東北教
区主教接手式・就任式に、
磯晴久主教が参加予定。
* 牧師任命式が聖アンデレ
(4月16日)、聖パウロ(4
月23日)、守口聖オーガス
ティン(4月30日)で行わ
れる。
* 東豊中聖ミカエル保育園
について、単独での社会福
祉法人移行は断念した旨の
報告があった。
II. 協議事項及び主教諮問
* 第130(臨時)教区会決議録
を読み合わせ、承認した。
* 教区会後に開催された「語
り場」の報告を確認し、配
信方法等を協議した。
* 講壇交換について、今年度
に限り7月の第4主日(7
月23日)とすることを了承。
* 宮本憲神学生について、体
調面等から教区神学生を辞
退。奨学金の返済について
は、神学生後援会理事会で
検討する。
* 6月18日(日)~20日(火)

ナザレの家で開催される女
性の教役者黙想会に千松清
美司祭が参加することを承
認。

* 5月12日(金)~13日(土)
に開催される「拡大青年担
当者の集い」に金山将司司
祭と小松虎ノ介さん(トマ
ス)が参加することを承認。

* 「関西のちの電話」と城
南キリスト教会との契約を
承認。
* 教区事務所職員・水畑裕美
さんが休職中であり、当面
は寒河江研司さんが支援に
加わる。また梅田社会保険
労務士事務所の協力を得る
ため、業務契約を交わすこ
とを承認。教区事務所の勤
務時間は5月から10時~18
時に変更することを確認。

洗礼

大阪聖三一教会 (4月9日)

ルカ 畑野 和喜

逝去者

石橋聖トマス教会

サラ 佐藤 悦子

(3月23日・92歳)

ルシヤ 大賀 欣夫子

(4月3日・81歳)

大阪聖パウロ教会

クリストファー 渡壁 穰

(2月11日・39歳)

丸井 正志

(3月21日・92歳)

大阪教区教役者

司祭 アントニオ 鄭 淵優

(4月23日・89歳)

魂の平安をお祈りします

主教巡回予定(6月)

4日 富田林聖アグネス教会

11日 大阪教区教区成立100周
年記念感謝礼拝 プー
ル学院メアリーズホール

18日 恵我之荘聖マタイ教会

25日 芦屋聖マルコ教会

お詫びと訂正

○509号8頁

米村司祭

(誤) 1979

(正) 1975

お詫びして訂正致します。

